会報

つちおと

第156号
令和4年12月

400年以上の時を越え、
日本の宝から世界の宝へ

世界遺産 姫路城

つちおとの表紙を飾る写真

◆テーマ・題材◆静岡県内の明治・大正・昭和期の建設工事関連写真

住所、氏名、電話番号、撮影年月日、撮影場所、写真の簡単な説明を記入したメモを必ず添えて、表紙裏面に記載の住所あてに郵送、あるいは協会までご持参ください。写真はつちおと掲載後に返却いたします。

※ご応募いただく際お預かりする個人情報は、掲載させていただいた方への図書カードの送付のために利用させていただきます。

大募集！

掲載の方には2,000円分の図書カード進呈!

FUKUROI BUILDER'S ASSOCIATION
(一社)袋井建設業協会

特集

再び日本建築の歴史に触れる、令和の姫路城

広報委員会（松下進一委員長）は、11月4日に「国宝姫路城」の視察をしました。

広報委員会では、平成25年11月「平成の修理」と言われた天守保存修理工事の復元工事現場にも視察に来ており、それ以来となります。前回の視察から、9年の歳月がたっておりますが、どのようになっているのかを取材してきました。

■これまでの修理工事

姫路城は江戸時代にもたびたび修理が行われてきました。

しかし、当時の技術では天守の重量に礎石が耐えられず、建物が沈み込んでいました。

明治43年から行われた明治の大修理では、大天守地階の支柱補強工事が行われました。

昭和31年からは、大天守等の解体修理が行われました。

全ての建物を一度解体してから部材を修復し再度組み立て直しています。

礎石を撤去し、新たに鉄筋コンクリート製の強固な基礎構造物が姫山の岩盤上に直接構築され、沈下も補修されました。

昭和の大修理から約50年が経過し、予想以上に漆喰や木材の劣化が進んだため、平成21年6月から修理工事が始まり、瓦の葺き替え・天守の白漆喰の塗り替え・耐震補強が行われ、全国各地から約1万5,000名の職人が集まったそうです。

■姫路城工事の概要（パンフレットより）

天を突くように威風堂々とそびえる、白く輝く大天守。その圧倒的な姿は、白い鷺が舞い立つように見えることから、別名「白鷺城」と呼ばれております。また、平成5年12月に、奈良の法隆寺地域の仏教的建造物とともに、日本で初の世界遺産に登録されました。昭和の大修理から約50年。「平成の修理」と呼ばれた大天守保存修理工事は、かけがえのない世界文化遺産・国宝を築城時そのままの美しい姿で次の世代へ引き継ぐため、漆喰壁の塗り替えや屋根瓦の葺き直しを中心に約5年をかけて行われました。

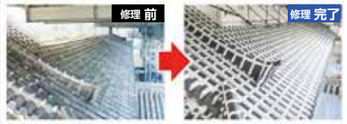
■主な工事内容（パンフレットより）

天守閣屋根修理	・全面葺き直し ・瓦留め（釘または銅線による補強） ・目地漆喰の全面補修	構造補強	・地下、1,6階部分の耐震性向上のため柱補強ほか
漆喰塗り替え	・一～四層　表面の漆喰塗り替え ・五層　下地からの修理 ・軒先、破風、懸魚等は上塗り修理または下地から修理	素屋根仮設	・高さ　約52m、巾45×46m 建築面積　2075㎡ 延床面積　8315㎡
		総工費	・約24億円
木工事他	・1～6階床板、窓補修	関わった職人の数	・延べ1万5千人（仮設除く）

主な修理工事

屋根

二重屋根北面の目地漆喰上塗仕上



二重屋根　西面

五重・四重屋根

懸魚（げぎょ）

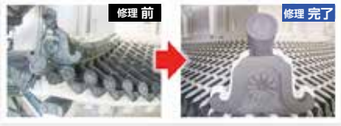
大千鳥東面の三花蕉懸魚（みつばなかぶらげぎょ）

大千鳥西面の三花蕉懸魚（みつばなかぶらげぎょ）

鬼瓦・鯱瓦（しゃちがわら）

五重屋根南東面　隅棟部鬼瓦　揚羽蝶（立体）

一重屋根南東面　隅棟部鬼瓦　菊紋（立体）



鯱瓦（しゃちがわら）

昭和の鯱瓦（しゃちがわら）　平成の鯱瓦（しゃちがわら）

視察を終えて

「平成の修理」が終え、約7年が経過しておりますが、「白鷺城」とも呼ばれる白く輝く大天守は健在で、姫路市のシンボルには圧倒されました。

今回は、姫路城観光ボランティアガイドの方に歴史や最近テレビで放送されている蘊蓄を含め約2時間ていねいに案内、説明をお願いし、改めて姫路城のことを知ることができました。

一番感じたことは、約9年ぶりに姫路市を訪れましたが、お城までの道中は、若干建物が変わったくらいで、きれいな街並みは健在。近年のコロナ禍での自粛モードが和らぎ、修学旅行生も多く、当時の活気が戻ってきているような賑わいでした。これが早く通常になる日を願うばかりです。　（M）

御前崎市佐倉 桜ヶ池 池宮神社

中東遠の神社を訪れる 13

第13回は、御前崎市佐倉にある池宮神社です。遠州七不思議「龍神伝説」で有名な桜ヶ池のほとりにたたずむ神社です。お彼岸の中日（秋分の日）には、平安時代から約850年以上続く神事、お櫃納め（おひつおさめ）が行われており、県指定無形民俗文化財となっています。

御祭神

瀬織津比咩命
（相殿）事代主命・建御名方命

御神徳

大祓詞に現れる、代表的な清め祓いの神で諸々の罪穢を祓い、開運厄除の御神徳極めて高い。
事代主命・建御名方命は共に大国主命の御子神で、事代主命は通称エビス様と称され商売繁盛、福の神として、又、建御名方命は農、耕、水の守護神として崇められている。

御由来

創祀は敏達天皇十三年六月（五八四年）に瀬織津比咩命がご出現、社殿の造営がなされた。後、栄枯盛衰が激しく平安時代の初めには衰退し、社殿は大破した。しかし平安時代中期一条天皇の長保三年（一〇〇一年）社家の遠祖源朝臣信栄が社勢を再興した。
室町時代に入ると駿河・遠江を領有する今川氏の崇敬を受けたが、戦国末期に武田・徳川両氏の高天神城争奪の地となり、社殿はじめ神宝、旧記、古文書の大部分を焼失。
江戸時代に神官信盛が再び興し、徳川家の崇敬を受け、明治維新に至るまで地頭の祈願所となっていた。
享保十六年（一七三一年）には正一位の神階宣示を受け、本殿は宝暦十年（一七六〇年）、拝殿は元文四年（一七三九年）に、時の大宮司従四位下佐倉治部大輔源朝臣信幸が造営し、その名を池宮天王社とも称され現今に至る。

江戸幕府第15代征夷大将軍、徳川慶喜が揮毫した扁額が掲げられています

特殊神事

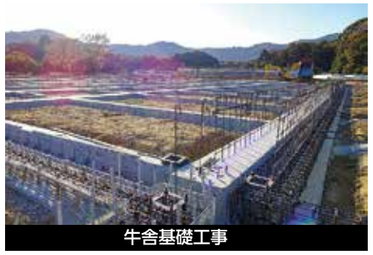
秋の彼岸の中日（秋分の日）。平安末期、嘉応元年（一一六九年）比叡山の名僧皇円阿闍梨が、末法思想に悩む人々を救済するには、五十六億七千万年後の弥勒菩薩の出現を待つ以外にないとし、身を龍蛇と化し桜ヶ池に入定された。
数年後、その高弟法然上人は師の霊を桜ヶ池に訪れた。そして桧づくりのおひつに赤飯をつめ、一つは池宮神社に一つは師の皇円阿闍梨にと、池心に沈めたことに始まり親鸞上人、熊谷蓮生房（直実）が継承し、以来約八百五十年続いている奇祭である。現在では全国の崇敬者より百数十櫃が毎年納められ、県指定無形民俗文化財に指定されている。
この納櫃神事は、直径約四〇センチ、高さ二十八センチの桧製の蒸籠型の器で鑽火で蒸した赤飯を四升五合（約六キロ）を固くつめ、御幣を五本ずつ立てたお櫃を地元氏子青年十数名が立ち泳ぎして、池の中央に出て順次池心にこれを沈め龍神に供える行事で、この池中に納まったお櫃は、数日後には空になって空になって再び浮いてくる。遠州七不思議の一つに数えられている。

約850年続くおひつおさめの神事

ステーション
建設STATION

満咲（まんさく）牧場（ぼくじょう）株式会社　畜舎新築工事

令和4年11月に浜名湖の西岸、湖西市に開業した満咲牧場は、この地域にある県天然記念物に指定された「トキワマンサク」の群生地に因み、名付けられております。
満咲牧場は1000頭の乳牛を飼育して県内は勿論、東海地域でも最大規模の牧場であり、その特徴はロータリーパーラーと呼ばれる回転する台上で、一度に40頭の乳牛が、15分で搾乳できるシステムにあります。
また、乳牛の習性を考えた牛舎配置、浜名湖を考慮して2種類の排水処理、堆肥製造の自動化、暑熱対策に屋根の散水などの工夫がされています。
畜産は4K（苦しい、汚い、危険、臭い）と言われていますが、牧場で働きたい若者もあり、雇用する牧場側の意識を時代に合わせて変えていく必要があります。
満咲牧場では労働時間の短縮、職場環境の美化、安全、環境に配慮した牧場になっております。更に働きやすい職場を目標に、事務室、研修室、休憩室、食堂、ランドリーも配備してあります。


牛舎基礎工事

牛舎内部

ロータリーパーラー

工事概要

工事名称: 令和3年度満咲牧場株式会社　畜舎新築工事
（牛舎・堆肥舎・飼料舎・事務所）　令和3年10月～令和4年3月
（パーラー棟・休憩所）　令和4年4月～令和4年10月

主要用途　乳牛牧場
建築場所　静岡県湖西市太田1202-1他
敷地面積　21888.22㎡　建築面積 9915.08㎡　延床面積 9834.23㎡
構　造　鉄骨造、木造
階　数　地上1階(一部地下1階)

設計・監理
原田一級建築士事務所

工事施工
建築工事　塚本建設株式会社
電気設備工事　株式会社トラスト
機械設備工事　大場配管株式会社
パーラー設備工事　オリオン機械株式会社

協会活動報告

令和4年7月～10月

理事会

7／14(木)第4回理事会
○袋井土木事務所及び中遠農林事務所との意見交換会の開催
○時間外労働の上限規制に関する研修会の開催
○親睦ゴルフ大会及び懇親会の開催
○静岡理工科大学建築学科作品年鑑に対する協賛金
○協会活動報告(正副会長職務執行状況)
○県協会第3回理事会の概要
○道路・河川愛護運動の実施計画
○経営者セミナーの開催結果　ほか

9／7(水)第5回理事会
○袋井土木事務所及び中遠農林事務所との意見交換会の開催
○親睦ゴルフ大会の開催
○家畜防疫研修会の開催結果
○県協会第4回理事会の概要
○県協会下一斉情報伝達訓練の実施結果　ほか

10／19(水)第6回理事会
○広報委員会委員の変更
○県協会第5回理事会の概要
○道路・河川愛護運動の実績報告
○静岡県建設業協会もの創り大賞の申込　ほか

委員会等

■正副会長会議

7／14(木)第4回正副会長会議
・第4回理事会上程議案・報告事項
・静岡県道路利用者会議袋井支部理事就任

9／7(水)第5回正副会長会議
・第5回理事会報告事項

10／19(水)第6回正副会長会議
・第6回理事会上程議案・報告事項

■総務委員会(労務委員会)

7／11(月)経営者セミナー【参加者26名】
・サイバーセキュリティ講話(県警サイバー犯罪対策課)

9／16(金)第15回献血活動【献血者51名】
10／27(木)親睦ゴルフ大会【参加者10名】
・葛城ゴルフ倶楽部　山名コース

■安全委員会

7／1(金)第2回安全委員会
・当面の活動について

7／1(金)第36回袋井地区建設業安全大会(袋井建設業会館)【参加者55名】
・安全管理優良事業場等の表彰
・安全重点目標・安全の誓い　ほか

7／8(金)第3回安全委員会
・今後の活動について

7／8(金)安全研修会【受講者18名】
・建設現場におけるリスクアセスメント(磐田労基署)
・工事に伴う伐採作業の安全管理(中遠農林)
・現場における熱中症予防対策の実施(大塚製薬㈱)

10／6(木)・7(金)第59回全国建設業労働災害防止大会(金沢)
【参加者10名(会場4名、Web6名)】

10／17(月)三者合同安全パトロール(掛川地区)
【参加者8名(磐田労基署・袋井土木・安全委員)】

10／18(火)三者合同安全パトロール(磐田・袋井地区)
【参加者9名(磐田労基署・中遠農林・安全委員)】

10／28(金)第49回静岡県建設業労働災害防止大会(静岡労政会館)【参加者15名】

■広報委員会

7／13(水)第4回広報委員会
・会報「つちおと第155号」(8／1発行)の校正

8／29(月)第5回広報委員会
・会報「つちおと第156号」の編集計画

9／15(木)第6回広報委員会
・会報「つちおと第156号」の編集
・会報「つちおと第156号」の原稿確認

10／20(木)第7回広報委員会
・会報「つちおと第157号」の原稿確認

■土木委員会

8／18(木)第18回親子現場見学会【参加者27名(うち親子9組18名)】
・静岡理工科大学・うなぎパイファクトリー

■環境・災害対策委員会

7／20(水)第2回環境・災害対策委員会
・災害協定対象施設(農業用施設)現地実地訓練
・家畜防疫研修会　ほか

7／20(水)家畜伝染病協定締結団体研修会・豚熱埋却作業に関する検討会(県畜産振興課主催)【参加者36社47名】

8／30(火)家畜防疫研修会【参加者14名】
・協定対象施設(養豚場・養鶏場)の概況
・防護服の脱着訓練　ほか

9／12(月)第3回環境・災害対策委員会
・災害対策・家畜伝染病対策に関する県関係機関との意見交換会に対する意見・要望
・西部家畜保健衛生所との打合せ　ほか

10／21(金)袋井建設業協会災害対策本部要員参集訓練【参加者14名】
・会館機能確保、物資・資機材確保　ほか

研修会・講習会

7／6(水)フルハーネス型安全帯使用作業特別教育【受講者32名】

7／7(木)足場の組立て作業主任者能力向上教育【受講者18名】

7／12(火)JCM・DVDセミナー【受講者17名】

7／20(水)・21(木)情報共有システム講習会【受講者107名(うち協会員77名)】

7／29(金)第4回技術者講習会【受講者55名(会場42名、Web13名)】
・NETIS登録の高圧温水除草ジェットウォーター(スーパー工業㈱)
・工事検査から見た現場管理(中遠農林)
・土木工事の品質向上に向けて(袋井土木)

9／7(水)監理技術者講習【受講者24名】

その他の行事

7／6(水)中遠農林事務所との農業農村整備工事に係る打合せ【参加者9名(中遠農林4名、協会5名)】

7／14(木)御前崎港管理事務所主催)御前崎港安全対策協議会地震対策部会(御前崎港管理事務所)【参加会員1社】
・御前崎港みなと機能継続計画の改正等　ほか

7／27(水)災害協定対象施設(農業用施設)現地実地訓練(中遠農林事務所主催)【参加者24社48名】
・海岸保全施設・地すべり防止施設等14施設

8／29(月)静岡県建設業協会県下一斉情報伝達訓練【参加会員49社】

9／9(金)災害協定に基づく出動要請・応諾訓練(御前崎港管理事務所主催)【参加会員3社】

表彰　(敬称略)

◆令和4年度 優秀施工者国土交通大臣顕彰

鈴木芳則　㈱アキヤマ　(磐田市)

◆令和4年度 静岡県優秀施工者知事表彰

榛葉聡志　丸明建設㈱　(袋井市)
岡本克幸　掛川土建㈱　(掛川市)
鈴木義史　㈱永井組　(袋井市)

◆令和4年度 中部地方整備局優良工事等表彰

■中部地方整備局長表彰
優良工事施工者・優良工事技術者
㈱鈴恭組・辻　智仁　(磐田市)

■浜松河川国道事務所長表彰
優良工事施工者・優良工事技術者
㈱若杉組・植田和浩　(掛川市)

■優良工事表彰に係る関係協力会社への表彰
関係協力会社・有能技能者
㈱小原組・原川大佑　(菊川市)

◆令和4年度 静岡県優良建設工事表彰

■交通基盤部長表彰
優良技術者部門(土木工事)
若杉健吾　㈱若杉組　(掛川市)
岩崎保仁　乗松建設㈱　(磐田市)
安全工事部門(土木工事)
大沼建設㈱　(森町)
維持管理業務部門(土木工事)
㈱石川組　(菊川市)
優良工事部門(営繕工事)
石川建設㈱　(磐田市)
優良技術者部門(営繕工事)
高塚　貢　㈱若杉組　(掛川市)

■経済産業部農林水産担当部長表彰
－ICT優良工事部門(農林土木工事)
㈱西島土木　(御前崎市)

■企業局長表彰
優良技術者部門
鈴木邦雄　平野建設㈱　(磐田市)

■袋井土木事務所長表彰
優良工事部門
平野建設㈱　(磐田市)
優良技術者部門
鷹宗建設　(磐田市)
落田　保　松村建設㈱　(袋井市)
安全工事部門
飯尾幸弘　丸明建設㈱　(掛川市)
㈱藤本組
－ICT優良工事部門
石川建設㈱　(磐田市)
働き方改革工事部門
㈱増田組　(御前崎市)
維持管理業務部門
㈱遠興　(掛川市)
睦建設共業㈱　(袋井市)
㈱堀内土木　(磐田市)

■中遠農林事務所長表彰
優良技術者部門
牧野裕明　石川建設㈱　(磐田市)
赤澤勇次　㈱樽林組　(掛川市)
高塚一樹　㈱若杉組　(掛川市)
－ICT優良工事部門
平野建設㈱　(磐田市)

■企業局西部事務所長表彰
優良工事部門
㈱鈴恭組　(磐田市)

◆令和4年度 建設雇用改善優良事業所知事褒賞

㈱小原組　(菊川市)

◆令和4年度 建退共制度普及協力者に対する勤労者退職金共済機構理事長表彰

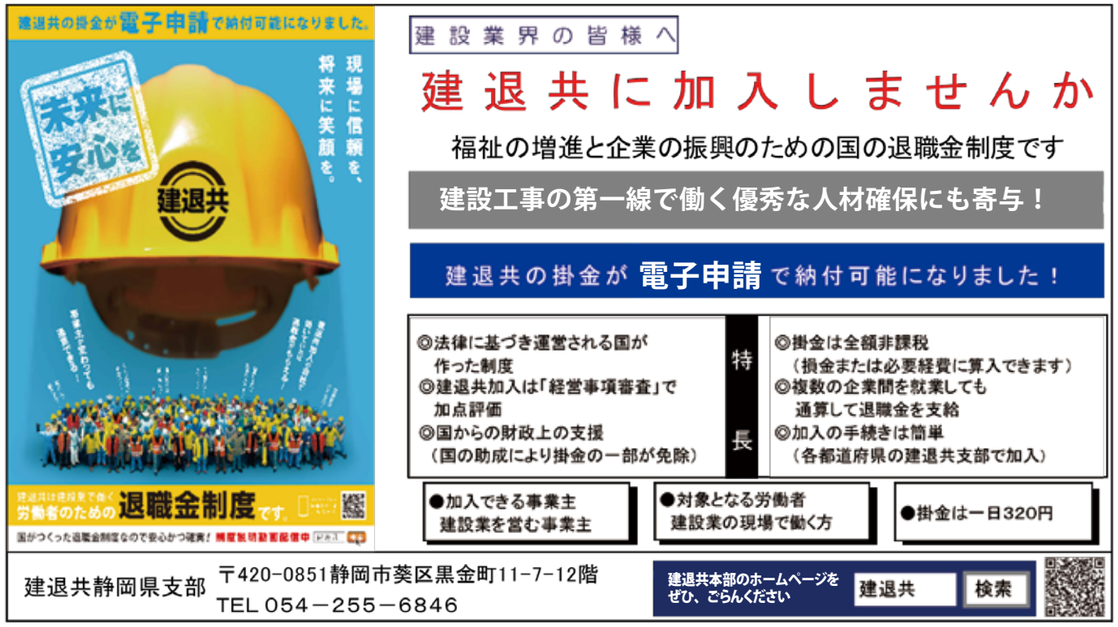
石川建設㈱　(磐田市)

◆西部家畜保健衛生推進協議会感謝状

当協会が、令和3年12月に実施した豚熱の防疫措置に対し、管内市町、関係団体等からなる協議会から感謝状を頂きました。

事務局からのお知らせ

事務局書記村松しのぶが10月31日をもって退職し、11月1日から、松澤貴美恵が勤務することになりました。
どうぞよろしくお願いいたします。



会報 つちおと 第156号

安全の道しるべ

安全研修会 7月8日(金)

於:袋井建設業協会　2階大会議室

あいさつ
袋井建設業協会 塚本法樹副会長

講演　磐田労働基準監督署
大津聡安全衛生課長

コロナの感染拡大防止のため、規模を縮小し、Zoomでの参加にも対応し、3年ぶりに3名の講師を招き開催しました。
当日は、Zoom参加者15名を含み56名が参加しました。

■磐田労働基準監督署　大津安全衛生課長
演題「建設現場におけるリスクアセスメント」

■中遠農林事務所　大野検査監
演題「工事に伴う伐採作業の安全管理」

■大塚製薬㈱　伊藤ソーシャルヘルス・リレーション担当部長
演題「現場における熱中症予防対策の実施について」

全国建設業労働災害防止大会in金沢 10月17日～18日

於:いしかわ総合スポーツセンター他

中村会長と
安全三役が参加

今年度もコロナ禍であり、現地参加とオンライン配信を組み合わせたハイブリッド開催で、全国より5,700名が参加しました。袋井分会からは4名が現地へ、6名がオンラインにより参加しました。

<功 労 賞>　南部建設㈱　竹林大造

静岡県建設業労働災害防止大会 10月28日(金)

於:静岡労政会館　6階ホール

あいさつ
静岡労働局 石丸哲治局長

当日は県内各地より157名(袋井より15名)が参加し、無災害を誓いました。

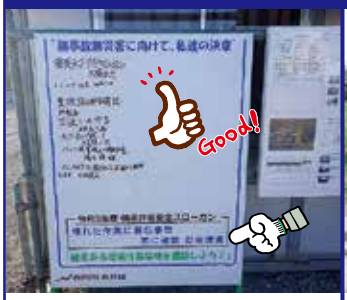
<事業場賞>　南部建設㈱
　　㈱川島組
<功 労 賞>　正光建設㈱　大槻　登
<功 績 賞>　㈱遠興　野中幹仁
　　㈱鈴恭組　大石博之

官民合同による三者合同パトロールを実施しました。

実施日　10月17日(月)　**参加者8名**
磐田労働基準監督署　大津安全衛生課長
袋井土木事務所　安田検査監・岩﨑技師
建災防袋井分会(袋井建協)
落合主任安全指導者・掛川地区安全指導者4名
実施箇所　掛川地区(袋井土木事務所発注現場)2箇所

実施日　10月18日(火)　**参加者9名**
磐田労働基準監督署　大津安全衛生課長
中遠農林事務所　秋山検査監・倉田検査監・大野検査監
建災防袋井分会(袋井建協)
中山安全委員長・磐田地区安全指導者4名
実施箇所　磐田・袋井森地区(中遠農林事務所発注現場)2箇所

これい～ね!



各個人の無事故無災害に向けてのスローガンが掲げられており、安全への意識が高い

既設撤去した材料が綺麗に整理整頓されている

すぐ直そう!!

作業坂路敷き鉄板が半分浮いている

安衛則第540条

重機未使用時における、フックの未格納

安衛則第160条

建設業年末年始労働災害防止強調月間
令和4年12月1日～令和5年1月15日

「無事故の歳末　明るい正月」

つちおとはインターネット上でもご覧いただけます。袋井建設業協会サイトのトップページ(http://www.fukuroi-kenkyo.or.jp)右メニューの「広報紙」をクリックしてください。

発行●一般社団法人 袋井建設業協会 〒437-0024 袋井市三門町11-12 TEL0538-42-4338 http://www.fukuroi-kenkyo.or.jp/

つちおとは、再生紙を使用しています。